

Hi-GA

HIROSHIMA
GLOBAL

 ACADEMY

Junior & Senior High School

[令和7年度版]

広島県立 広島叡智学園中学校・高等学校



吉村 薫 / Kaoru Yoshimura
広島叡智学園中学校・高等学校
HIROSHIMA GLOBAL ACADEMY (HiGA) 校長

変化の激しい時代において、地域や世界の「よりよい未来」を創造できるリーダー育成のため、広島叡智学園(HiGA)は平成31年4月、豊かな自然に囲まれた広島県の大崎上島に、全寮制の併設型中高一貫教育校として開校しました。国際バカロレア(IB)教育を通じた探究的な学びの成果として、令和7年3月には第1期生が国内外の大学へ進学するなど、自己の進路を切り拓いています。

全国から入学した中学生に加え、高校からは多様な背景をもつ留学生も加わり、グローバルな視野と地域に根ざした心を育むラーニングコミュニティを形成しています。さらに、異学年・多国籍生徒が共に生活する寮生活を通じて、生徒が心身ともに成長していけるよう、教職員が連携し、きめ細やかにサポートしています。

HiGAはこれからも、生徒と教職員が一体となり大崎上島から世界へ羽ばたくグローバルリーダーの育成を目指し、学びと生活の両面で一人ひとりを大切に育ててまいります。

吉村 薫
Kaoru Yoshimura

HiGAとともに歩む
未来の自分

HiGA MVV

MISSION

ミッション

学びを通じて平和な社会づくりを実現し続ける存在となることを目指す

TO BE A GLOBAL LEADER IN BUILDING PEACE WITH THE POWER OF "LEARNING".

VISION

ヴィジョン

社会の持続的な平和と発展に向け、世界中のどこにおいても
地域や世界の「よりよい未来」を創造できるリーダーを育成する

TO FOSTER LEADERS WHO CREATE IN THEIR COMMUNITY "A BETTER FUTURE"
FOR PEACE AND SUSTAINABLE DEVELOPMENT.

「学びの変革」の目指すべきモデルとなる

TO BE AN EXCELLENT MODEL IN "LEARNING INNOVATION".

VALUES

バリュー

「グローバルな視野」と「地域に根ざした心」の双方を大切にし、
主体的に学び続ける「ラーニングコミュニティ」を形成する

TO BE A LEARNING COMMUNITY WHOSE GLOBAL VISION IS ROOTED IN LOCAL CONTEXT.



SCHOOL EMBLEM 校章

3つの波のイメージで、色は瀬戸内海の色や
日本の伝統色を意識した。

一つ一つの波は HiGA の Mission, Vision, Values を表す。

Mission = 「平和」

Vision = 「リーダーとしての心」

Values = 「学び続けるための知性」

小文字の「h」を想像させる余白を作り、

「広島叡智学園」の頭文字を印象付けられるようにした。

また、その余白は「人」という文字にも見えるようにし、

広島叡智学園に人が集まるデザインにした。

From a HiGA Student

校章も自分たちの手で

最終的に私の考えた原案デザインをもとに様々な方に協力していただき、現在の校章が完成しました。1期生、2期生一人ひとりがアイデアを出し、生徒それぞれが抱くHiGAへの強い想いが校章に込められています。これら様々な想いを胸に、これからも私たち生徒自身の手でHiGAをここにしかない学びができる場所にしていきます。

学校概要

設置形態 併設型中高一貫教育校
課程・学科 全日制課程普通科
学期 3学期制

学校規模 中学校：1学年40人 / 高等学校：1学年60人
寄宿舎 設置（全寮制）
卒業資格 日本の高等学校卒業資格 / 国際バカロレア（IB）資格

学校ホームページはこちら▶
右記QRコードからご覧頂けます。
URI : <https://higa-s.jp/>



GLOCAL

The IB Opened My Eyes to the Future

I found out about HiGA through an announcement from my state. I was attracted to its international environment and the opportunity to keep learning languages, cultures, and challenging myself at math.

The IB program also interested me, because it offers a lot of knowledge and helps with applying to universities abroad. Before HiGA, I wasn't sure about my career path, but now I know I want to study aerospace engineering and study overseas. This has helped me choose the right subjects and stay focused during the DP.

HiGAのことは、母国の州の発表を通じて知りました。国際的な環境の中で学べること、そして言語・文化・難しい数学の学習を続けられることに魅力を感じました。

IBプログラムにも興味がありました。なぜなら、幅広い知識が得られ、海外の大学への進学にも役立つからです。HiGAに来る前は、自分の進路がはっきりしていませんでしたが、今では航空宇宙工学を学び、海外で勉強したいという目標ができました。これにより、正しい科目選択ができ、目標に向けて集中してDP期間中に学ぶことができます。

Ximena Alvarez Martinez

A Mexican student who enjoyed reading, learning new languages, and participating in math contests while living in Mexico, Ximena decided to join HiGA in order to experience an international learning environment. After a few months of being at HiGA, she has adapted to the community, made new friends, and developed new skills that will help her in the future.

メキシコ出身。母国では読書や新しい言語の学習、数学コンテストへの参加を楽しんでいた。国際的な学習環境を体験するためにHiGAへの進学を決めた。HiGAで数ヶ月を過ごすうちにコミュニティにも慣れ、新しい友人ができ、将来に役立つ新しいスキルも身に付けている。

HiGAで 育まれた探究心

ここ、自然溢れる大崎上島で学び続けて4年。HiGAでの学びが私の人生に大きな影響を与えていることを実感しています。私は、令和6年9月から12月の3ヶ月間、学校主催の交換留学で英国 Ruthin 高校に留学しました。私にとって初めての海外、しかも3ヶ月という長期滞在はまさに未知の世界でした。留学先では言語の壁に直面しましたが、その経験こそが私を大きく成長させてくれたと確信しています。ネガティブマインドだった私が、困難な状況を打破する過程を経てポジティブマインドへと変容を遂げました。そして、以前は視野に入れることができなかった海外大学への進学も、前向きに捉えることができるようになりました。さらに、HiGAでの探究的な学びや自問自答を立てる経験を通して、未知を解き明かすことの面白さに気づき、研究者という道に強く惹かれるようになりました。HiGAでの学びは毎日が新たな挑戦です。ここHiGAで、実りある中高生活を送りませんか？

立川 璃々子 / Ririko Tatsukawa

広島県広島市出身。小学校低学年の時、学校で配布された県の教育広報誌でHiGAの存在を知った。全寮制の生活や開放的で充実した学習環境に魅了され、HiGAの受検を決意。令和6年9月から12月の3ヶ月間、学校主催の交換留学で英国 Ruthin 高校に留学し、初めての海外を経験。日本と海外の違いに圧倒されつつも、現地での生活からより広い視野を獲得した。将来は、化学の分野で研究職に就き、世界に貢献できる人物となることを目指している。

HiGAは 自身の“好き”を 磨く機会に あふれている

ここでIB生として学ぶ中でIB教育の奥深さを実感し、いつしか興味の対象が教育そのものになりました。学びを実践に活かすことに肯定的な学校の体制があり、中学校で英語教育を通じた子供向けの交流イベントを企画することもできました。自由にテーマを設定できる探究活動では、海外の教育法を掘り下げ、何をもって「質の高い教育」と言うのか疑問に思ったことを機に、高校1年生の夏から10ヶ月間フィンランドに留学し、その後更なる学びを求め飛び立ったザンビアでは、課題論文のためのデータを現地で収集するなどして、短期の滞在を充実させました。

HiGAでの学びは、自身の興味分野に対する着実かつ幅広い追求をもたらしてくれました。将来は恵まれた教育環境の中で培った経験やスキルを活かし、日本教育の新常識を創りたいと考えています。海外の大学では教育学を中心に、教育を取り巻く様々な学問へのアプローチを図りたいです。

松室 美胡 / Miko Matsumuro

幼少期から台湾で育ち、HiGAへの入学を機に帰国。国際色豊かな環境で育った過去を踏まえ、英語学習を継続できるカリキュラムや、留学生と1日を共にする生活に惹かれた。1期生として入学するも、関心を抱いていた教育分野への知見を広めるため長期留学を決意。現在は年下の同級生たちとDP最終試験に向け、互いに高め合いながら、プラス1年の高校生活を謳歌している。

HiGAでの探究的な学びは、下の問いから始まりました。中学生の頃は、初めて取り組む生徒主体の学びに戸惑いながらも、興味を原動力に知識を広げ、深めていく面白さに気づきました。高校生になってからは、進路に悩みつつも探究活動の楽しさに影響され、研究者を志すようになりました。高校2年時に全生徒が取り組む課題論文は絶好の機会。で、課外活動で興味を持った環境問題、地理で知ったエネルギー問題に関する世界の実情、大好きな物理で出会った太陽光発電を結びつけ、「発電量を最大化する反射材の角度」に関する研究に挑戦しました。HiGAでの学びと経験をかき集めて見つけたエネルギー問題に対する興味は、やがて「太陽光発電による安定したエネルギー供給の実現」という夢へと変化しました。多くの問いに向き合った時間が、今の私をつくってくれました。こんな学びを、HiGAで共に歩んでみませんか？

前田 哲志 / Satoshi Maeda

広島県呉市出身。自分自身が自由な中にも芯のある校風に惹かれHiGAの受験を決意。2期生として入学。高校1年時にアメリカ研修に参加したことで海外大学への進学を志す。現在は、物理や地理の学び、課外活動を通して興味を持ったエネルギー問題に関する研究活動に取り組んでいる。将来は安定したクリーンなエネルギー供給の実現に向けて研究者として活動したいと考えている。

この学びは、社会にどう役立つのか？



INITIATIVE



HiGAでの学び

HiGAは、生徒主体の探究的な学びと国際的な環境が融合した場所です。
生徒はIBプログラムを通じて異文化交流を経験し、自己成長を促進していきます。
教職員はファシリテーターとして、生徒の考える力を支援し、
彼らが地域や世界をリードするリーダーへと成長する手助けを行います。



学びで重点的に育成する力

様々な場面で活用できる
知識・技能の深い理解

新しい価値を生み出す
創造的・批判的思考力

目標に向かって
やり抜く力・自信

異なる文化・価値観を持つ人々と
協働する力

日本語でも英語でも議論・協働できる
高い語学力

学びの5つの特色

- 1 HiGAの国際バカロレア (IB) P.11
- 2 生きた英語力 P.13
- 3 将来を見据えた学習プログラム P.15
- 4 未来創造科 P.17
- 5 マネジメント力を伸ばす学習環境 P.19



INTERNATIONAL BACCALAUREATE



HiGAの 国際バカロレア^(IB)

変化の激しい時代において、
グローバル人材の必要性が一層高まっていく中、
国際バカロレアでの学びを通して
「国際的な視野」の獲得と
「生涯にわたって学ぶスキル」を身に付けた
人材育成を目指します。



HiGAならではの国際バカロレアに沿った学びの流れ

MYP (ミドルイヤーズ・プログラム)
中学校1年生～高校1年生(2学期)

複数の教科の見方や
考え方を用いて、課題発見・解決

本校では、全寮制という環境を最大限に活用し、生徒の学びと日常生活とを関連付けることで、生徒が学ぶことの意義を実感できるようにしています。MYP(中学校1年生～高校1年生)の学習においては、複数の教科の見方や考え方を用いて、課題発見・解決を行う学際的単元の学習を行います。本校では、1つの教科、教室だけで学びが完結するのではなく、様々な場面に応用できる学びを目指して取り組んでいます。

中学校1年生の例

数学と美術のそれぞれの見方を活かした包装紙のデザインを行う。

中学校2年生の例

社会と技術の学際的単元として、エネルギー変換の視点を踏まえ、人々のニーズに応えられる避難所をデザインする。

DP (ディプロマ・プログラム)
高校1年生(3学期)～高校3年生

MYPの学びを生かした
より学術的で探究的な学習

DPでは、MYPで身に付けた学び方を生かし、より学術的で探究的な学習に取り組みます。本校では、6年間を通じて全ての生徒がIBを通して深く学ぶことにより、一生涯学び続ける学習者の育成を目指しています。

MYPとDPの違い 「社会科で冷戦を扱う場合」

MYPの学習

自分たちで調べた冷戦に関する情報などをもとに、「本当にそうなの?」「なんでなんだろう?」という視点から、歴史的見方・考え方、文化の多様性への理解などを深める。

DPの学習

冷戦時代の出来事だけではなく、その発端として第二次大戦で米ソが手を組めた理由などの冷戦の背景についても考察し、自分たちの冷戦に関する解釈を構築する。

国際バカロレア資格

大学入学資格取得へ
高校3年生

全生徒がディプロマ取得を
目指します

本校は令和2年10月にIBのMYP(ミドルイヤーズ・プログラム)、令和3年5月にDP(ディプロマ・プログラム)の認定校となったIB World Schoolです。中学1年生から高校3年生までの間に、在籍する全ての生徒が一貫したIBの教育プログラム(MYPとDP)を履修するのは、日本の公立学校で初めてです。

本校では、中学校1年生から高校1年生冬までの期間にMYP、高校1年生冬から高校3年生冬までの期間にDPを履修し、全生徒がディプロマ取得を目指します。

国際バカロレア (IB)

国際バカロレアとは、国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラムのことです。国際バカロレア (IB: International Baccalaureate) は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートも確保することを目的として設置されました。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施しています。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム「IBとは」より

国際バカロレア認定校 (IB World School)

国際バカロレア認定校 (IB World School) とは、国際バカロレア機構から、国際バカロレアを実施する環境・体制等が整っていると認定された学校のことです。

MYP (ミドルイヤーズ・プログラム)

MYP (Middle Years Programme) は、11歳～16歳までを対象としており、青少年に、これまでの学習と社会のつながりを学ばせるプログラムです。これらを通じて、MYPでは、知識を統合した総合的なものとして示し、生徒がより広く、より複雑なグローバルな課題に対する認識を高めることが期待されています。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム「MYP (ミドルイヤーズ・プログラム)」より

DP (ディプロマ・プログラム)

DP (Diploma Programme) は16歳～19歳までを対象としており、所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格(国際バカロレア資格)が取得可能なプログラムです。「日本語DP」の対象科目等を除き、英語、フランス語又はスペイン語で実施されます。

文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム「DP (ディプロマ・プログラム)」より



IBに関する詳細はこちら▶

右記QRコードからご覧頂けます。

URI: ibconsortium.mext.go.jp/about-ib/



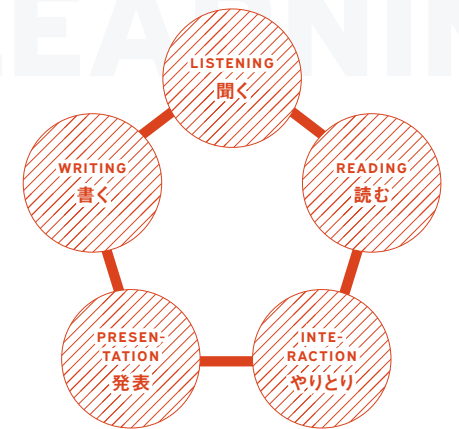


生きた英語力

HiGAの寮には、小さな国際社会があり、生徒には真のグローバルな社会に繋がる英語能力を育成する環境があります。

英語の授業ではIB教育の核となるコミュニケーション、文化、創造力、つながりといった概念学習につながるよう、探究的で深い学びを実施しています。これにより英語で様々なテーマについて議論できるようになります。

例えば「コミュニケーションを取る場所によって表現はどう変わるか?」「物語の中での各登場人物のストーリー展開にはどんなパターンがあるか?」「テレビで見る広告はどのように創造的に人を説得させているのだろうか?」といったシラバスを実施しています。



5つの領域をバランスよく

聞くこと・書くこと・読むこと・話すこと(発表・やりとり)の4技能5領域をバランスよく育てていきます。日常会話表現だけでなく、英語で議論したり、論文を書いたりすることができるアカデミックな英語力を育成します。

HiGAならではの学習方法

ミクロからマクロへの理解		本物の英語のテキストを用いて、言葉の意味や文法(ミクロ)だけではなく、テキストが書かれた意図やその裏にある文化的な背景(マクロ)を深く理解します。
グローバルな視点で自身を深く知る		世界の様々な文化と人の暮らし方を学ぶことで、異文化理解を深め、自分自身や文化を多角的な視点で見直すことができます。
主体的な多読・多聴		海外の学校が現在推進中の「セルフ・セレクトド・リーディング」学習を実施しています。生徒は一人ひとりに合った本を選び、主体的に語彙力・表現力を伸ばします。本校の図書メディアセンターの本棚の中には5千冊以上の英語の本があり、生徒は気になる本を選ぶことができます。
言語学習だけではない		コミュニケーション力だけでなく、学習を計画し実行する力、失敗を恐れずチャレンジする力など、他の場面にも応用可能な資質・能力を身に付けます。

レベルに応じた英語検定をステップアップの指標に

本校では、年間2回程度、英語力の指標としてケンブリッジ英語検定を用いた外部評価を行っています。DP (ディプロマ・プログラム) 開始の高校1年生の冬までに、全生徒がCEFR B2レベル(下図)に到達できるように、生徒は各自の英語力に応じた目標設定を行います。

CEFR 目標値		高校1年生の冬までにCEFR B2 到達を目標	
C2	C2 Proficiency		
C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。		熟練した言語使用者
C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。		
B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。		自立した言語使用者
B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。		
A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。		基礎段階の言語使用者
A1	自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。		

(出典) プリティッシュ・カウリング、ケンブリッジ大学英語検定機構

将来を見据えた学習プログラム

進路実現に向け、生徒自身が様々なチャンスを掴みながら活躍の幅を広げていきます。

6年間を通してのキャリア形成

国際バカロレアの学びと進路を結びつけ、中高6年間で
通して「自分がやりたいこと」を常に模索し続けます。

用語解説

PP(Personal Project)
生徒個人がプロジェクトを立ち上げ実施する。

EE (Extended Essay)
課題論文を執筆する。

IA (Internal Assessment)
内部評価課題（レポート課題）を実施する。

DP Style 模試
中学校3年次に受けるDPの最終試験を模した校内模試。

DP Exam Week
Final Mock の前に実施される校内試験週間。各教科の総括的評価課題が実施される。

Final Mock
Final Exam 前に実施される校内模試。ここを出た予想スコアをもとに大学に出願する。

Final Exam
世界で一斉に実施される公式の試験。年内12月中旬に最終スコアが通知される。

5Round System
様々な方法で、教科書を5回繰り返し学習する授業法で英語力を向上させる。

※ 1…本校では、令和7年度より海外の修学旅行を実施せず、令和5年度から段階的に、生徒のニーズにあった、多様なプログラムを準備しています。これらのプログラムには、奨学金対象のものもありますが、原則、個別のプログラム費用がかかります。
※ 2…フィリピン / フィジー・インドネシアは中学2年生～高校1年生が対象。ベトナムは中学1年生～中学3年生が対象。
※ 3…校内選考有り

中1 / G7		中2 / G8			中3 / G9		高1 / G10		高2 / G11		高3 / G12				
ネイティブの教員による授業・コミュニケーションの濃度															
国際バカロレア認定校 (IB World School)としての キーイベント IBDP のスコアを進路選択に生かせるよう 6年間をかけて支援		MYP						DP							
		10月…学問系統調べ 6月…職業調べ		6月…国内大学調べ 9月…海外大学調べ 10月…DP 授業見学① 1月…DP 授業見学②			6月…DP Style 模試 9月…DP 授業見学③ 12月…DP 科目選択 1月…PP 開始		9月…PP 最終提出 1月…DP 開始		5月…EE 開始 7月…DP Exam Week ① 9月…IA 開始 3月…DP Exam Week ② 2月…EE 最終提出		5月…IA 終了 7月…Final Mock 11月…Final Exam 12月…Final Exam 結果通知		
高い英語力の育成 英語で、海外の人と対等 以上に交流・交渉ができる 生徒を育てることのできる カリキュラム		CFER 目標値	A1			A2			B1			B2 ～			
		英語科	中1教科書	中2教科書	中3教科書	実践的な英語力育成のため		習熟度別で行う独自のカリキュラム			DP English B				
		5Round System													
		外部プログラム (オプション) ※ 1	[夏休み]フィリピン / フィジー 語学留学※2(隔年実施) [夏休み]インドネシア リーダーシップ研修※2 [春休み]ベトナム アントレプレナーシップ研修※2						[9～12月]イギリス Ruthin高校留学 A Level の授業に3ヶ月間参加※3						
進路支援 多様な進路選択を可能にすることが できるよう幅広い課外活動を準備		視野と可能性拡張期間 ・大学訪問ツアーへの参加等により、大学の選択肢を広げる ・教育課程内外の学びにおいて、専門家等との出会いを通じて、自身の興味・関心について探究する										出願準備期間 ・出願予定大学のオープンキャンパス 参加(現地 / オンライン) ・専門家や大学と連携した IA 及び EE の実施		出願期間 ・大学への出願 ・奨学金への出願 ・Personal Statement の推敲	
		留学生向け国内大学ツアー ・国内の大学研究室や企業等の訪問ツアーに参加 海外大学ツアー ・ヨーロッパやアジアの大学の訪問ツアーに参加													

海外へのチャンスを自分の手で

海外に出て見つけた学び

交換留学 大学視察

令和6年の9月から12月にかけて、イギリス・ウェールズにある Ruthin 高校との交換留学プログラムを実施しました。高校1年生5名が現地の高校生と共に寮生活を送りながら Ruthin 高校に通い、それぞれが選択した A-level の科目を英語で受講しました。英語力や異文化理解を深めるだけでなく、イギリスの文化や習慣に実際に触れる貴重な体験となりました。また、10月末にはヨーロッパの大学を巡る視察プログラムも行われ、参加生徒は、Erasmus University Rotterdam、University of Cambridge、University of Oxford、University of Groningen、The University of Manchester、Leiden University、KU Leuven の中から自身の興味や進路に繋がる大学を訪問しました。それぞれの大学の特色や進学方法、キャリアパスなどについての話を伺い、将来の進路について考える大きなきっかけとなりました。

【国際交流】に関する詳細はこちら▼



左記 QR コードからご覧頂けます。
URI : <https://higa-s.jp/global-network/>



CASE STUDY 01.

留学支援制度を活用し、積極的に海外へ挑戦する生徒が増えました。

トビタテ! 留学JAPANへの参加

短期留学 ボランティア

トビタテ! 留学 JAPAN 9期生として、フィリピンのセブで3週間留学を経験しました。留学中は、セブのスラムや孤児院へ出向き、食糧支援や子供達へのボランティア活動を行いました。「子供の精神的幸福度を向上させるための場作り」を探究テーマに設定し、ランタンやパラバルーンを使ったワークショップを通して、「幸福度向上に繋がる場とは何か」という探究をしました。「子供達に夢と希望を与えるぞ」と意気込んでいた私ですが、気がつけば私の方が何倍もの笑顔と励ましを貰っていたように思います。動画だけではわからない、人の温かさや空気感を知ることができ、常識を覆される経験に何度も心を動かされました。留学後もこのプログラムだからこそ出会える仲間や、トビタテコミュニティが、私を大きく成長させてくれました。これからも後輩に向けて留学の魅力を発信していきたいです。

【トビタテ! 留学JAPAN】に関する詳細はこちら▼



左記 QR コードからご覧頂けます。
URI : tobitate-mext.jasso.go.jp/about/



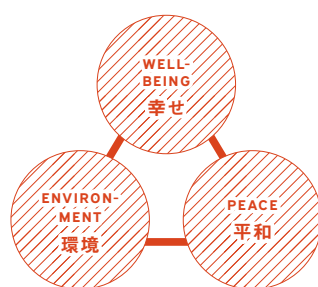
CASE STUDY 02.



未来創造科

戦争、貧困、環境、エネルギー、
食糧、少子高齢化、地域の衰退…。
世の中には、たくさんの課題があります。
社会で起きている様々な出来事について、
「自分たちで課題を設定し、国籍や文化の
違いを超えた仲間たち力を合わせて、
課題の解決にチャレンジする」。
そして、「テレビや新聞に載っている課題」から、
「自分たちの課題」に変える。
これが、本校の教育活動の核となる
「未来創造科」(Creating Our Future)です。

未来創造科の
3つのテーマ



私たちが創る幸せな未来

変化が激しく先行きが見通せない時代において、どのよう
にすれば豊かに生きていくことができるのか。未来創造
科では、「WELL-BEING 幸福」「ENVIRONMENT 環境」
「PEACE 平和」というテーマについて、仲間、家族、地域
や専門家の方々と対話やプロジェクトを重ねてそれぞれの
答えを見つけていきます。

6年間を通して学ぶ“ここ”でしかできない学習活動



専門家との出会い

様々な分野で活躍する専門家の方々を授業にお招きします。「大きな考え方」
「研究内容、プロジェクトの実施方法」「物事を成し遂げるための熱い想い」
など、プロジェクトを社会実装するために必要な知識、スキル、マインドセッ
トを学びます。



学びのフィールド

学びのフィールドは学校ではありません。対象者へのインタビュー調査、
地域の方との対話、企業や団体でのインターンシップ、自分たちで考えたプ
ロジェクトの実装等を大崎上島、広島、全国で展開します。様々なフィール
ドで挑戦することによって、生徒達は自らの可能性を広げていきます。



Student Choice & Voice

学びの主体は生徒であり、生徒の選択は大切にされます。「どんな課題を
設定するのか」「誰に向けたプロジェクトなのか」「いつ実行するのか」「ど
のように表現するのか」授業の中で生徒たちは選択を繰り返し、活動に責任
を持つことによって、それぞれが最高の「学び」を創っています。



CREATING
OUR FUTURE

マネジメント力を伸ばす学習環境

一人ひとりの生徒が主役

ここでは、「教師が教育を提供する側、生徒は教育を受ける側」ではありません。「教師も生徒も、一緒に教育を創る側」。生徒一人ひとりの「こんな学校にしたい」「こんな授業にしたい」という思いが、HiGAを創ります。



先生はファシリテーター

授業の主役は生徒です。彼らの成長と学びを最大限に引き出すため、生徒一人ひとりの個性と能力を尊重し、未来への可能性を広げることが私たち教員の使命です。

ここで学び、身に付けたスキルは世界中の様々な場所で生かすことができます。
このスキルは生徒たちの活躍のチャンスを増やしてくれます。



プロジェクト型の学び

「成功」も「失敗」もある「プロジェクト」へ。チャレンジすることは「成長のきっかけ」になり、子供たち自身で学びを深めることができる環境がHiGAにはあります。



一人ひとりの「知りたい」という思いから自発的に探究

一人1台のICT端末を用いて、いつでもどこでも学びを深めます。

社会全体が私たちの学び舎

私たちの学びの場は、学校内だけではなく、「社会全体が私たちの学び舎」を合い言葉に、積極的に学校の外に飛び出し、様々な場所で学びを深めます。



広島で学ぶ、広島を学ぶ

世界中から多くの人々が訪れる広島。戦後復興のあゆみや世界遺産など、広島ならではの学習活動を行います。



瀬戸内海は最高の教材

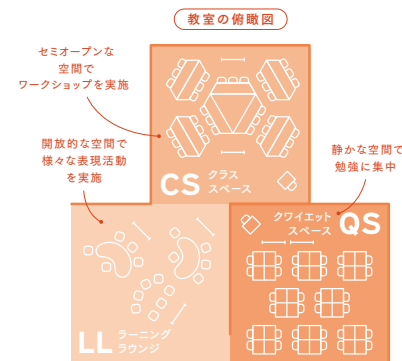
山・海に囲まれた最高の自然環境や、そこで暮らす地域の人から様々なことを学びます。



多様な学習を可能にする環境

これまでの「教室」は、四方が囲まれた閉鎖的なもの。でも、本校の教室は、家という「リビング」です。オープンな環境の中で、リラックスして学ぶことができます。一人1台のICT端末、プロジェクター、ホワイトボード、模造紙など、生徒たちのCollaboration、Innovation、Creationを支える環境が整っています。

様々な授業スタイルに対応できる3タイプの教室



よりオープンな教室 LL CS QS よりクローズな教室

学校生活で培われるもの

学習の中では、島の外に出たり、島の中でさまざまな人と交流したりしながら進めていくようなプロジェクトも行われます。私は、このようなプロジェクトや活動を通して、コミュニケーション能力や、自分の意見を積極的に相手に伝える力を付けることができたと感じています。また、HiGAでは学びだけでなく、時期によって様々なイベントがあります。このようなイベントは、先生方だけでなく、生徒たちが積極的に作っていくことができます。このように、HiGAでは学び以外にも、プロジェクトやイベントなど、自分たちで積極的に作り上げ、全力で楽しめる機会が多くあります。

From a HiGA Student



授業以外の時間も自由に学習

教室以外のスペースも活用して仲間と共に学習を進めています。

多様な未来への扉を開く

本校では、生徒全員が国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）を取得できるよう支援を行うとともに、各個人が取得したIBDPを活用して、自分の希望する進路選択ができるように個別最適な進路支援を行なっています。

入試結果＆進路指導の方針はこちら▶
右記QRコードからご覧頂けます。
URI : <https://higa-s.jp/about/class/>



生徒一人ひとりのニーズに応じた、個別最適な支援

キャリア教育目標

Peace / Sustainability の観点から、実現したい「自分の」未来を具体的に描く力（キャリアプランニング能力）を養う。

自分の未来の実現のために行動を起こし、計画を実行する力（自己理解・自己管理能力・課題対応能力）を養う。

目指す生徒像

1

自分で描いた未来を実現するための進路を選択する。

2

その未来を実現するために何を準備する必要があるのかを判断する。

3

その未来を実現するための計画を実行する。

進路のためのサポート体制

個別面談



予約システムを活用し、生徒が必要に応じていつでも相談ができる体制を整備しています。

各種説明会



世界ランキング100位以内の大学や、海外留学を支援する奨学金団体等を招聘し、説明会を開催しています。

三者懇談会



対面もしくはオンラインによる懇談を定期的に行い、学校と家庭が連携しながら生徒の進路実現を支援しています。

IBの学びは、 医学だけでなく生涯の力に

Graduates

INTERVIEW

卒業生の進路インタビュー

私は、高校1年生の終わり頃には、国内大学医学科への受験を心に決めていました。医学科の受験であれば、成績が最も大切だと思われがちです。もちろん成績が良くなければ受験資格を得ることができませんが、志望理由書や面接では課外活動が重要視されます。また、英語外部試験の成績も審査の大きな要素であるため、テスト勉強、英語の勉強、そして課外活動と、様々なタスクを効率的に行う必要があります。そのため、私は英語外部試験を2年生の終わりには受け終え、課外活動には1・2年生で集中的に取り組みしました。そして、3年生は勉学に力を注ぎました。一見大変そうに感じますが、実際に医学生として学ぶために必要な英語力、コミュニケーション能力、そして探究力は、国際バカロレアの学びだからこそ得ることができたと考えています。この医学への熱意を忘れず、これからも医療人としての能力を身につけることができるよう努力していきたいです。



林 史奈 / Fumina Hayashi

広島県福山市出身。幼少期からの英会話経験と広島敬智学園での探究活動を通じ医療に興味を持つ。ネパールでの医療支援や介護施設でのボランティア活動などを通じ関心を深め、将来は専門医として医療に貢献したいと考えている。

藤川 空風 / Kufu Fujikawa

広島県広島市出身。小学校の児童会長経験からリーダーシップを意識し、HIGA1期生として入学。HIGAでの学びを通して英語力を向上させ、高校生で初の海外を経験。英国大学で工学を学び、持続可能な社会の構築に向けて貢献したいと考えている。

教室を越え、 世界と繋がる6年間

HIGAには、一人ひとりの挑戦を温かく見守る“余白”が存在します。この自由な環境では、身近な課題から国際的な問題まで、幅広い視点で社会に目を向ける機会に富んでおり、先生方の親身なサポートに励まされながら、キャリア開拓への積極性を培いました。たとえば、CASの一環として学校近くの大串海岸で集めた海洋ごみを使いアート作品を制作し、地域のホテルと連携して展示会を企画・運営するプロジェクトに取り組む中で、創造性が社会に働かせる力を実感しました。さらに、UNITAR主催のGlobal Youth Climate Dialogueに参加することで、国際社会で求められるリーダーシップと広い視野を身に付ける貴重な機会となりました。他にも、大学主催の科学教育プログラムにも参加し、教室の枠を超えて自らの興味を追求する中で、私の進路実現に向けたかけがえのない糧が積み重なっていきました。HIGAでの6年間は、私の価値観や進路を形づくる礎となり、ここで得た学びと挑戦、そして気づきは、これからの人生を支える確かな軸となると確信しています。

林さんのロードマップ



藤川さんのロードマップ





HiGAでの暮らし

生徒全員で暮らす寮生活。個性や文化の違いを尊重した生活の中で、思いやりを重んじる協働の心を大切に、自主自律の力を育くみ、仲間との信頼を築いていきます。

安心・安全で、Well-beingがある寮生活を目指しています。

寮生活で重点的に育成する力

自己管理能力の育成

グローバルマインドの育成

人・地域との繋がりを大切にする心の育成

3つの視点から知る HiGAでの暮らし

1 仲間と学び仲間と暮らす

P.25

2 リラックスして生活できる環境

P.27

3 美しく豊かな自然の中で学ぶ

P.29

仲間と学び仲間と暮らす

平日の1日のながれ 自分で1日のスケジュールを考え、自己管理能力を培います。



栄養教諭からのことば

“HiGAごはん”で心と体の成長を

本校では、週末も含めて、1日3食を校内で調理・提供しています。提供する食事は、栄養教諭や栄養士が献立を作成し、調理員が学校の食堂の中で調理をしています。親元を離れて生活する生徒にとって、食事は最も身近なことのひとつだと考えています。生徒からの感想や食事の様子を見ながら、献立の振り返りと改善を繰り返し、おいしくて栄養満点の食事を追求しています。未来を担う生徒一人ひとりの健やかな成長を「食」を通してしっかりと支えていきます。



From a HiGA Student

寮での生活

HiGAの大きな魅力が寮生活だと思います。朝から晩まで友達と一緒にいるので、嬉しかったことや楽しかったことなど、思いをすぐに共有できたり、勉強をお互い教え合ったりできて、とても楽しいです。また、先輩や寮のスタッフの方、先生方がサポートしてくださり、安心して生活したり勉強したりできる環境が整っています。いろいろな方々のサポートで、寮生活を通して自律の心や思いやりの心などを育てることができます。

リラックスして 生活できる環境

様々なスタッフがサポートしながら、
ユニットリーダーを中心に生活環境を整えていきます。
楽しく笑い合い、ぶつかり思い悩み、
その感情を共有できる6年間の時間が
一生の思い出になります。

異年齢・多国籍の ユニットでの共同生活

集団(ユニット)を構成し、共同生活を送ります。個室と2人部屋があり、各部屋には、落ち着いて学習できるスペースとベッドを完備。また、開放的なリビングでは、ユニットメンバーの交流が自然と生まれます。ユニットではリーダーが中心となり、後輩たちの支援や指導を行います。



ハウスマスターが 多角的にサポート

HiGA の寮では、10人単位のユニットでユニットリーダーを中心に、各メンバーが協力して生活をします。様々な価値観をもった生徒が集まるユニットでは、楽しいことも困ることもあります。困ったことがあった時は、ユニットの先輩たちはもちろん、私たちハウスマスターや、ハウスサポーターも皆さんの生活を支えます。大崎上島で生まれ育った人や島外から島に来た人など、いろいろな寮スタッフがあります。悩みごとはもちろん、学校であったこと、好きなスポーツの話など、いろいろな話をしましょう！



安心して暮らせる環境づくり

サポート体制

「ハウスマスター」又は「ハウスサポーター」が寮管理棟に常駐します。また、教員も宿日直勤務により生徒を見守るなど、サポート体制を整えています。

セーフティ

各ユニットには、人数分の防災セットを常備しており、火災、地震、津波に対する避難訓練も定期的に行っています。島内には、内科、外科、歯科があり、日常的な病気やけがには十分対応可能です。万一の事態には救急艇やドクターヘリが稼働します。

セキュリティ

寮スタッフが常駐する管理棟を通過しなくては、寮がある「生活エリア」には入れません。また、男子寮と女子寮の間を行き来することはできません。寮周辺はフェンスや警戒センサーで取り囲み、防犯カメラや電気錠のゲートを設置するなど、安心・安全な環境を整えています。

個性輝く寮イベントと 肌で感じる島の日常

多様なバックグラウンドを持つ仲間と企画するユニークなイベントが、あなたの個性を最大限に引き出します。また、瀬戸内の豊かな自然に囲まれた島の日常を肌で感じながら、地域との交流を通じて新たな発見と共に協調性を育むことができます。



農作業体験

花の移植、田植え、果実の収穫など地域の方と一緒にしています。



オータムフェス

歌やダンス、コントなど様々なジャンルのステージを披露します。また世界の伝統文化に触れる機会もあります。



島親さんとのもちつき

島親さん主催のもちつきに毎年参加しています。

スピリットウィーク

テーマに沿った服装や髪型をして登校する一週間です。



夏祭り

生徒自身で考えたイベントを行うミニ夏祭り。みんなで夏の風物詩を味わいます。



島親さんとの グランドゴルフ

島親さん主催のグランドゴルフ大会が毎年大会が開かれています。



ユニットミーティング

各ユニットリーダーを中心に集団生活の様々な課題を共有し、話し合いを行います。



LEARNING NURTURED BY NATURE

美しく豊かな 自然の中で学ぶ

多島美や自然の豊かさから、海外からも
注目を浴びる瀬戸内海。そのほぼ中央に位置する
大崎上島に、本校は誕生しました。
豊かな自然に囲まれ、のびのびとした全寮制の
キャンパスは、生徒の知的的好奇心や感性を育みます！



A サイエンスセンター



知的好奇心を刺激する、実験や演習を通じた探究活動空間。

B 数社教室棟



数学科・社会科を中心に授業が展開される教室空間。

C アート&クラフトセンター



感性を磨く、ものづくりを重視した表現・創造活動空間。

D 図書メディアセンター



本校の「知」の拠点。多様な集団による協働・創造活動を支援。

E 言語教室棟



国語科・英語科を中心に授業が展開される教室空間。

F F.L.A.(フレキシブルラーニングエリア)



教室棟のF.L.A.。どんな活動にも柔軟に対応、生徒の動線上にある多目的な活動空間。

G 学びの回廊



本校のシンボル。授業の合間、生徒たちが語らう憩いの場となります。

H 管理棟(職員室・事務室)



多国籍なスタッフが常駐。生徒の学園生活を温かくサポート。

I グラウンド



海岸沿いの広大なスポーツエリア。

J テニス・バスケットコート



テニスコート3面、バスケットコート1面を完備。

K 体育館



開放的なスポーツ空間。

L 小体育館



独創的でアクティブな活動空間。武道からダンス、ヨガなど、多目的に活用。

M 寮ハウス



異年齢・多国籍の仲間と暮らす、メゾネットタイプの快適な居住空間。

N カフェトリウム



コンサートやミュージカルも開催！ホールも兼ねた開放的な食事空間。

O カフェテリア



自然に会話が盛り上がる空間。家庭科室のほか和室等も完備。

P 芝広場



多様な交流が新たな価値を創出。イノベーションを生み出す源泉。

HiGAに留学して | Enrolling at HiGA FROM OVERSEAS



HiGA Led Me to My Future

Khushi Ahlawat

A student from India, Khushi joined the HiGA community in August, 2024 and has since been proactively applying herself to both her studies and efforts to learn the culture and way of life in Japan. She enjoys participating in extracurricular activities, such as sports and writing and used to do volunteer work back in India. In the future, she wants to study mechanical engineering overseas.

令和6年8月にHiGAコミュニティに加わったインド出身の生徒。学業だけでなく日本の文化や生活習慣を学ぶことにも積極的に取り組んでいる。スポーツや執筆などの課外活動にも楽しんでおり、インドではボランティア活動にも携わっていた。将来は海外で機械工学を学びたいと考えている。

Studying at HiGA has helped me learn and think about my career path. Before coming here, I was undecided about my future and which direction to choose, but since working with the passionate faculty and career counselors, I have been able to evaluate my choices and form decisions. Through the IB curriculum, I have been able to discover the fields I am interested in, and freely conduct research in my areas of focus.

HiGAで学ぶことは、私の学びとキャリア形成に大きく役立っています。ここに来る前は、将来についても、どの分野に進むべきかも決めかねていましたが、熱心な先生方やカレッジカウンセラーと関わる中で、自分の選択肢を見つめ直し、進む道を決めることができました。IBのカリキュラムを通じて、自分の興味のある分野を見つけることができ、将来に向けて自由に調査・探究を進めています。

Empowered by Learning and Teacher Support



HiGA's unique vision and vibrant, welcoming community immediately drew me in. The rigorous IB program offers a true, valuable challenge, essential for top universities worldwide. The disciplined life at HiGA and the exceptional, dedicated teacher support have profoundly shaped my academic focus and future plans, providing a clear foundational direction. I'm incredibly excited to immerse myself fully in this enriching environment and reach my full potential here.

HiGAの独自の教育ビジョンと活気あふれるコミュニティに、私は魅了されました。国際バカロレア(IB)プログラムは、世界トップレベルの大学で学ぶ上で不可欠な挑戦となるでしょう。HiGAでの規律ある寮生活と先生方の献身的なサポートが、私の学問的目標と将来の専門分野を明確にしてくれました。この充実した環境で、自身の可能性を最大限に引き出すのが楽しみです。

Wasir Mahdi

From Bangladesh, Wasir passionately seeks to acquire diverse skills and comprehensive knowledge, genuinely embracing new cultures and experiences, and actively contributing to HiGA's vibrant community.

バングラデシュ出身。多様なスキルと包括的な知識を情熱的に追求している。新たな文化や経験を心から受け入れ、活気あるHiGAコミュニティにも積極的に貢献している。

How HiGA & IB Empower My Full Potential



Initially, my key academic goal was to explore specialized field. However, HiGA genuinely broadened my future perspective, consistently introducing me to new innovative ideas. I am firmly aiming to attend a leading global university. I know that this requires hard work to keep up with the IB curriculum. I've successfully adapted to this demanding environment, confidently handling new academic and personal challenges. I'm convinced that HiGA will effectively help me reach my full potential.

当初、私の目標は特定の専門分野の探究でした。HiGAは私の未来を広げ、革新的な発想をもたらしました。世界を牽引する大学を目指し、IBカリキュラムに懸命に取り組んでいます。この厳しい環境に順応し、新たな課題にも自信を持って取り組めるようになりました。HiGAは、私の可能性を最大限に引き出すと確信しています。

Ashlyn Osborne

From New Zealand, Ashlyn chose HiGA to grow, experience new things, and challenge herself. She's built strong friendships, gained invaluable experiences, and is eagerly anticipating her future.

ニュージーランド出身。挑戦と新しい学びを熱心に受け入れている。独自の成長機会や新たな経験、そして自身を試すためにHiGAへの進学を選んだ。彼女は強い友情を築き、貴重な経験を数多く得ており、今後の未来を心待ちにしている。

広島県立広島観智学園 中学校・高等学校校歌

It's gifted to us on this holy island in the Seto inland sea.
We promise what we'll accomplish
for those who made their dreams come true here long ago.
Although the billows block the way, we keep going.
We'll move forward on the front lines until we see.
This we will do for everyone's well-being.
Let us learn wisdom so we will find the way to go.

清らかな水面に映ゆるこの瀬戸の地に
積年の夢遂げた先人へ誓おう
時を先駆けこだます想いは大洋を越えて
諸人の待つ未来へいざ育まん我が観智を

作 詞 広島観智学園 第1期生
池田 耕二 (広島観智学園教職員)
作 曲 池田 耕二

[英文和訳]
我々は瀬戸内にあるこの神聖な島で
それを受け継いだ
かつてここで夢を成し遂げてきた
人々へ我々が達成すべきことを誓う
大波が行く手を阻もうとしても
我々はそのに至るまで先頭に立ち進み続ける
全ての人々の幸せの為に
我々が進むべき道を見出す為の知恵を賜う

校歌を視聴できます
左記 QR コードから視聴することができます
URL: <http://higa-s.jp/about/overview/>

この歌詞は、未来の繁栄を願って干拓に関わった人々や本校の設立に携わった人々の思いを受け継いだ者として、広島観智学園の生徒がグローバルな視野に立ち、社会の持続的な平和と地域や世界のより良い未来を創造するリーダーとして国際社会に貢献することを目指した学校のビジョンを表している。



周辺環境

瀬戸内海の真ん中に浮かぶ大崎上島。
まずは是非一度、ご家族でお越しください。
本州から島までは、約30分のフェリーの旅。
島内の神峰山から見える多島美は、
きっと忘れられない景色になることでしょう。



広島から竹原港へのバスでのアクセス

広島空港⇒竹原港	約30分
広島駅⇒竹原港	約70分
広島バスセンター⇒竹原港	約85分

大崎上島へのフェリーでのアクセス

竹原港⇒垂水港・白水港	約30分
安芸津港⇒大西港	35分
大崎下島⇒明石港	15分
今治・宗方港⇒木江港	約70分(今治へ)・15分(宗方へ)

※交通状況等により、所要時間が大幅に変更になる可能性や、上記が最短のルートとはならない場合があります。事前にご確認ください。

神峰山から見る瀬戸内の多島美



夏を彩る伝統と祭り



大串海水浴場



温暖な島の「うまいもん」



